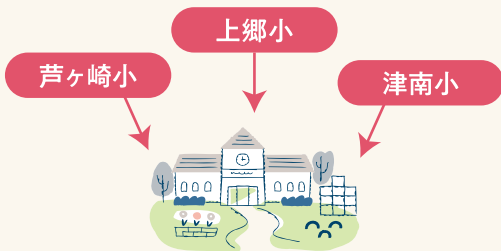


R7の取り組み

- ・保育園環境整備
- ・若手常勤医2名確保
- ・農地基盤整備
- ・うもれあ(旧中津小)オープン
- ・介護医療院環境整備 など



新しい津南小

〈令和9年4月統合に向け準備〉

津南町誕生70年

この町の未来と
笑顔のために

お知らせ版員

広報

いろいろな面を充実させていきたいと考えています。今年には、津南小でひろびろ学童保育ができるように改修工事をします。

課題であった保育園環境整備は、どのような計画ですか？

子どもが過ごす環境改善や働く保育士の労働改善、3歳未満児に対応した施設機能にしたいことなど、必要性をあらため

今年で津南町ができてちょうど70年ですね。これからの津南はどうなっていくのでしょうか？教えてください。

国でも「地方創生」の動きがあって、私たち自治体や産業や町民のそれぞれが良い方向に向かっていけると、今よりもっと良いまちになれますよ。人口が減るけど、それに合

1

津南での地方創生 “津南創生”

登場人物



桑原 町長



つなたさん

32歳。東京で働いていたが、Uターンして津南町に戻ってきた。

お問い合わせ

津南町総務課
TEL.765-3112

2

ニューグリーンピアの再生

グリーンピアについて実はよく知りません。ピクニックやスキーには行きますが…。

1985年、国の年262億円の総工費をかけてオープンさせました。全

国にこういう保養施設が13か所できいましたが、2005年当時の小泉政権時代の改革により廃止が決まり、国から2億1400万円が津南町が買いました。それからどうなったのですか？

何からどうやろうとされているのですか？最近、小学校の再編統合の話がありますが、どうなりますか？

昨年から話し合いをし、令和9年4月に芦ヶ崎小、上郷小、津南小を統合して、新しい津南小としてスタートするために、準備をしています。ちょうど国でも教育に注目が高まっていて、統合を機にい

丁寧に説明してきて、ひまわり保育園増築棟をつくるための設計に向かうことになりました。開園は令和11年4月を予定します。

他に町が取り組むことはありますか？

地域が待ち望んだ農地の基盤整備事業が進むことや他にもあるので、町の広報や、さまざまな総会などに出かけてお話しします。

2005年から東京の(医)光善会と(株)津南高原開発のグループが、賃借人となってニュー・グリーンピア津南として再出発したんです。そして、2015年からは(株)津南高原開発が単独で賃借人になって運営しています。

なるほど。冬のランタンは最高ですね！そしてそれからどうなっていますか？

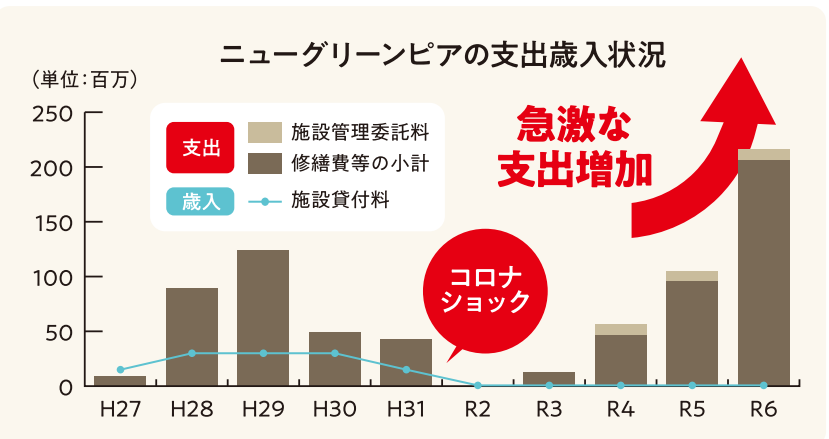
2015年から、(株)津南高原開発が町に年額3000万円の賃料を納めてもらい、そのお金と町からの支援で、施設の修繕をしてきました。ただ…、2020年のコロナショック以来、賃料を免除しており、



今では修繕にかかるお金は、町がほぼ全額を町民の皆さまの税金のなかから支出しています。お客さまの安全を確保するため、最低限の修繕をしてきました。そのため、他のスキーリゾート施設と競争して、収益を上げるほどの投資までできませんでした。(株)津南高原開発からは、さらに町の支援がないと、運営は難しいと言われていました。

あまり知らなかったです。これまで町はグリーンピアにいくら使ってきたのでしょうか？全体的に老朽化が進行しているようですが。

大体ですが、2015年からこれまでに合計8億円。これから先は、最低限の修繕だけでも15〜25億円。町民一人あたり18〜30万円くらいが見込まれています。このほか、客室や共用スペースなど表に見える部分



今後の修繕費 15~25億円
町民一人あたり 18~30万円の負担
累積支出合計 8億円超

は改装が必要で、合計で数十億円かかります。他のグリーンピアでは再生を民間に託した所も複数あります。

令和6年度にグリーンピアにかけた金額は約2億1600万円。それ以外に、冬に傷んだ町道や消雪のノズルや井戸の修繕はひっきりなしで、もっと進めなければいけません。また、要望が高まっている学校の給食費の無償化や在宅介護の支援、空き家対策など、現状ではもつと進めたいところに予算をかけることができない状況です。将来も、町がグリーンピア施設を修繕するなら、以上に税金を投入することになります。

この2億円の一部を子どもや若者のため、

津南に来てくれるようになります。

やり方を工夫して、医師が来る流れを作ろうと町も考えたんですね。

それで、その2人の後輩医師たちが「津南の病院で今までにない取り組みをしている！」と注目するようになりました。昨夏から県内各地から津南に通って、病院の皆さんと一緒に病院や町の将来像をつくることを始めました。新潟県も若い医師の県内定

お年寄りのために、使わないのですか？学校や公民館の改良には使わないのですか？

そういう意見をお持ちの町民もいらっしゃると思っています。そして、お金の問題だけではないんです。全国的に珍しい大きなスキー場付きホテルを、資産として管理していくには、とても高い専門性が必要です。町役場にホテル経営等に精通し、実務経験豊富な専門家はいません。

これまで幸い、人命に関わる事故やトラブルがなかったのは良かったですが、町がこの大きな施設を資産管理していくということは、そういうリスク防止や、施設の劣化や陳腐化に対して、追加投資をし続ける余力が重要です。今の町で、それは現実的ではないと思っています。だから、つなたさんの時代のことを考えて、手を打たないといけないと考えています。

着のため、応援しています。

町の将来にとって大切な取り組みになっていきそうですね。僕たちも変わっていくかな。新年度からはどうなりますか？

4月からは、その若い医師が常勤に加わり、少し世代交代を進め、新しい診療体制でこの町の医療を作っていきます。新たに、町民講座やオンライン診療にもチャレンジしていく予定です。

町はどうしようとしていますか？

町の長期的な発展につながる再生のために向かっています。実績のあるしっかりと投資してくれるところの資金のもと、これから10年20年先も持続したホテル運営と成長が必要だと考えていて、現在、複数のプランが出揃うのを待っ

3 安心の医療を継続!

医師の高齢化が進み、このままでは町の医療を守っていけなくなると考え、長年医師確保にはいろいろな手を尽くしてきました。

コロナやインフルの時は医療の大切さがおばあさんも、病院を頼りにしています。将来、お医

者さんが居なくなったら大変ですが、医師確保はどうなったか教えてください。

そうですね。今のうちに、若い先生がいてくれる環境を作らないといけません。昨年は、県内で研修を積んでいた若い先生お2人が、「過疎地医療の役に立ちたい」と言ってくれ、週の半分ずつ、交代で

地域住民の声を拾いながら新しい病院の姿へ



若手医師

2名着任



- 十日町病院との連携
- 津南型オンライン診療
- 町民講座の開催
- 県の医師定着支援